



まくべ

わたしたちのまち

(昭和63年1月1日現在)

人口	21,789	(+72)
男	10,639	(+33)
女	11,150	(+39)
世帯数	6,682	(+15)
一人のうごき (12月中)	—	
転入	108人	転出 54人
出生	25人	死亡 7人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



守るぞ！農業と地域経済

農業と地域経済を守ろうと農畜産物輸入自由化・梓拵大阻止幕別町総決起大会が1月10日、相川の十勝畜産農業協同組合広場で行われ、農業者、商工業者、消費者など3,000人の町民が集結しました。

基幹産業の崩壊は町の衰退にもつながるとあって、参加者は厳寒の中、「自由化阻止」の熱いアピールを大きく響かせていました。

63年 **2**

No.433

特集 本年度の町づくりはどう進んだか……①

環境整備 生活の

「住みよい町づくり」を目標に、本年度の予算は四本の柱で構成されています。①生活環境の整備 ②福祉と健康の充実 ③教育施設の整備 ④産業の振興。

広報七月号では、これら町づくりの具体的な計画をお知らせしましたが、実際にどう進んだのか今月号から二回に分けて特集します。



昨年8月にオープンした猿別川河川敷のサーモンコース

公園

▼明野ヶ丘公園の整備
総合公園として昭和五十三年から整備を進めています。完成予定は六十五年度で、本年度は駐車場の舗装と照明灯(六基)の設置を行いました。

▼止若公園の整備
猿別川河川敷を利用しレクリエーション、軽スポーツを楽しむ公園として、五十五年度から整備を進めています。本年度はジョギングコース(百m)の整備と、振興公社によりパークゴルフ場(サーモンコース)の造成が行われました。

道路

▼町道・街路の整備
生産基盤となる幹線道路の整備と市街地道路の舗装を進めました。本年度は市街地道路では、春日団地道路一号(百八十m)、同三号(百五十二m)、旭町一条通(百六十m)、あかしや団地道路四号(百m)、札内七号団地道路四号(百

交通防犯

十m)、札内四線(二百二十m)の舗装を行いました。幹線道路では軍岡大豊線ほか十路線の整備を行いました。これにより、今年度事業完了時点では、改良率四五%(前年四三%)、舗装率二九%(前年二五%)になる見込みです。

▼道路の防じん処理
市街地の未舗装道路や交通量が多い路線に乳剤防じん処理を行いました。本年度は幕別地区九路線、札内地区二十路線に行いました。

▼幕別本通りの歩道設置
根室本線踏切から曙(あけぼの)通りまでの幕別本通りの両側に六十一年度から三カ年計画で歩道を設置しています。本年度は平和通りから踏切までの間百六十八mを整備しました。

▼カーブ警戒誘導標識の設置
交通安全対策として、カーブ警戒誘導標識を町道五カ所に十基設置しました。

▼防犯・街路灯の設置
夜間における防犯と交通安全確保のため、水銀灯を七十基設置しました。

公営住宅

▼町営住宅の建設
寿町に二階建て町営住宅一棟八戸を建設しました。既に昨年十二月から入居が始まっています。

▼公営住宅の補修
道営、町営住宅の補修(畳表裏替え、給排水、建具など)や、四階建て住宅の赤水対策として給水管の清掃を実施しました。



寿町に建設された町営住宅

下水道

▼幕別地区
五十年からスタートした公共下水道事業は五十九年五月から供用が開始されました。六十二年十月末での普及率は七三・六%で、本年度は汚水枝線(千五百二十六



札内の中継ポンプ場

上水道

▼水道管の敷設
札内北土地区画整備事業による道路整備に合わせて、配水本管七千八百五十mを敷設しました。また老朽化した配水本管の取り替えを行いました。

▼家庭用水量器の取り替え
各家庭の水道使用量を確認する量水器七百個を更新しました。

近隣センター

▼相川西近隣センターの建設
相川西近隣センターを相川小学

校の西側に建設しました。面積は百三十七平方メートルで、十一月二十三日に落成式が行われました。

▼近隣センターの整備

北栄町近隣センターの増築を行いました。増築面積は約六十七平方メートルです。また、泉町近隣センターの駐車場の舗装を行いました。



相川小学校の西側に建設された相川西近隣センター

環境衛生

▼幕別墓地の環境整備

明野の幕別墓地を墓苑化するために、環境整備を二カ年計画で行っています。本年度は旧火葬場と管理人住宅の取り壊しや駐車場の路盤改良、あずま屋の設置などの事業を行いました。

▼ゴミ処理などの負担金

ゴミやし尿は近隣市町村と共同で処理しています。本年度はゴミ処理に三千四百八十八万一千円、し尿処理に五千八百十万六千円の合わせて九千二百二十八万七千円（いずれも見込み額）を負担します。

福祉と健康の充実

老人福祉

▼老人健康増進センターの建設

昨年度は札内地区と駒島地区に老人健康増進センター（室内ゲートボール場）を建設しましたが、本年度は幕別地区に建設しました。約六百平方メートルの建物で、十一月二十八日にオープンしました。

▼ゲートボールの振興

駒島地区にゲートボール場を二面造成しました。また、ゲートボール用具十セットを購入して各老人クラブなどで利用しています。

▼老人クラブへの補助金



室内ゲートボール場でさっそくプレーを楽しむお年寄り

各単位老人クラブへ補助金を交付しています。昨年度はクラブ員一人当たり千円でしたが、本年度から千二百円になりました。総額で二百六万円を交付しました。

▼老人入浴車の購入

寝たきりのお年寄りや身体に重い障害のある人のために、老人入浴車をより機能的なものに更新しました。

勤労者福祉

▼勤労者生活資金の貸し付け

労働組合や職員団体などの組織に加入していないため、どこからも生活に必要なお金が借りられない人のための制度です。

お貸しする金額は一万円以上十万円以内で、一年以内に償還していただきます。利率は年三％です。生活資金の申し込みは、開発商工課 労政係 ☎54-2111 内線 235へご相談ください。

身障者福祉

▼重度心身障害児家庭への見舞金

十八歳未満で心身の不自由な方

がいる家庭（在宅）に、月額三千五百円をお贈りしています。

▼心身障害児の通園・訓練費の助成

心身の機能回復訓練のため、訓練施設に通学、通園する児童に通園費を助成しています。

▼心身障害児療育委託事業

帯広児童療育センターへの委託事業で、心身に障害のある幼児が保護者とともに通園しながら、日常生活における基本動作、集団生活への適応訓練を行っています。

ウタリ住民福祉

▼千住生活館の改修

昭和三十八年に建てられた千住生活館の老朽化が著しいため、昨年度から二カ年計画で改修を行いました。昨年度は内部改修を、本年度は外部改修を行いました。



改修工事を終えた千住生活館

児童福祉

▼遺児援護金

不幸にして生計の中心者を失った義務教育終了前の遺児の方、また二十歳未満で障害を持った方に月額三千円をお贈りしています。対象者は今年一月現在で三十七人となっています。

▼児童手当

十八歳未満の子供が二人以上いて、一定の要件を満たす場合に児童手当を支給しています。本年度は昨年十月現在で五百六十一世帯に給付しています。

医療

▼医療費の助成

六歳未満の子供が病気にかかったとき、重度心身障害者や母子家庭の方、お年寄り（六十五歳以上）の方に医療費の助成をしています。医療費の助成を受ける場合は、受給登録が必要ですので、町民課 国保医療係（☎54-2111 内線 102）または、札内支所で手続きをしてください。

保険・予防

▼健康教育

婦人部、老人クラブなどの集まりに、希望に応じ保健婦が出かけていき、健康教育を行っています。お気軽に町民課保健予防係へご相談ください。

▼各種検診の実施

乳幼児の健康診断や胃ガン検診、多項目血液検査、婦人科検診、結核検診などの検診を行っています。

上・下水道料金が変わります

水道料

四年ぶりに平均二〇%のアップ

上・下水道料金の改定が昨年十二月の町議会で議決され、約四年ぶりに改定されることになりました。改定の内容は、下水道料金については現在の用途別料金制から口径別料金制に変わり、引上率は平均で約二〇%となっています。下水道料金は平均で一八・七％の引上率です。いずれも今年五月徴収分からの適用で、三年間据え置くことになっていますので、皆さんのご理解をお願いします。

水道使用料

■上水道事業の現状

本町の水道は昭和二十八年十二月から給水が始まり、その後、給水戸数の増加と需要水量の増大に伴い拡張事業を進め、現在は給水可能人口二万人、一日最大給水量六千立方メートルの規模となっています。しかしこれらの事業を進めるためには、巨額の費用を必要とします。

本町の場合は、給水区域が幕別と札内の二つの市街にまたがっていることや、低地にある水源地から高台にある配水池に送水するための動力費(電気料金)を要すること、配水管の老朽化に伴う漏水修

運営すると、三年後には約二億円の資金不足が見込まれることから、町では昨年七月に引上率平均四〇%を内容とする水道料金改定を使用料等審議会(木川拓二会長)に諮問しました。

同審議会では慎重に審議を重ねた結果、住民生活へ与える影響と公共性を考慮して引上率を平均二〇%とする内容の答申をしました。町ではこの答申に基づいて町議会に提案し議決されました。その結果、引上率は平均二〇%で五月徴収分から適用し、三年間据え置くことになりました。

■口径別料金制を採用

現在の料金体制は家庭用、営業用など九つに分類された用途別料金制をとっていますが、五月徴収分からは口径別料金制を採用することになりました。口径別とは各家庭や営業所に引く給水管もしくはメーター器の大小により基本料金を定めるものです。表一参照

■では、いくらに：

五月徴収分からは一般家庭(口径十三ミリ、二十ミリ)では一カ月の基本料金が八百円で、一立方メートル

表一 口径別の料金

口径	基本料金	水量料金
13mm	1カ月	1㎡当り
20mm	800円	170円
25mm	1,500	170
40mm	3,300	170
50mm	10,900	170
75mm	17,400	170

■簡易水道等

簡易水道、営農用水道、飲料水供給施設の水道使用料金については、現在の種類別及び用途別料金体系を継続し、基本料金、超過料金ともに二〇%引上げされます。

下水道使用料

下水道使用料は平均一八・七％の引上げになりました。料金体系は変わらずこれまでどおりです。具体的には十立方メートルまでの基本料金は千五十円(現行は九百十円)、超過料金は一立方メートルあたり百十円(同九十円)になります。実施時期は水道使用料と同じく五月徴収分からです。

表二 改定後の一般家庭での水道使用料金表

口径 13mm・20mm 基本料金 800円 1㎡水量料金 170円

使用水量	1㎡	2㎡	3㎡	4㎡	5㎡	6㎡	7㎡	8㎡	9㎡	10㎡	11㎡	12㎡	13㎡	14㎡	15㎡	16㎡	17㎡	18㎡	19㎡	20㎡
現料金 円	1,800円										1,950	2,100	2,250	2,400	2,550	2,700	2,850	3,000	3,150	3,300
改定料金円	970	1,140	1,310	1,480	1,650	1,820	1,990	2,160	2,330	2,500	2,670	2,840	3,010	3,180	3,350	3,520	3,690	3,860	4,030	4,200
差額 円	△830	△660	△490	△320	△150	20	190	360	530	700	720	740	760	780	800	820	840	860	880	900
改定率 %	△46.11	△36.67	△27.22	△17.78	△ 8.33	1.11	10.56	20.00	29.44	38.89	36.92	35.24	33.78	32.50	31.37	30.37	29.47	28.67	27.94	27.27

厳寒の中 3,000人が参加

一月十日、午前十一時から相川の十勝畜産農業協同組合広場で行われた農畜産物輸入自由化・梓拡大阻止幕別町総決起大会には厳寒をものともせず約三千人の町民が参加しました。

昨年の「関税と貿易に関する一般協定(ガット)」総会では採択を逸がれた農畜産物十二品目の輸入自由化・梓拡大が今年二月の「ガット」理事会で最終決定されようとしています。この梓拡大が決定されるとわが国農業、とりわけ本道農業に与える影響は大きく、本



むしろ旗や各団体旗が並んだ会場

町では基幹産業である農業だけでなく地域経済の崩壊へとつながると心配されるどころです。例えば、でんぷんが輸入自由化されると輪作体系の崩壊から麦、てん菜などの品質や収量が低下し畑作農業は崩壊へとつながります。これに伴い関連産業(農業機械産業、運輸業、商工業)などへの打撃、研究機関の廃止、縮小など地域社会の衰退へつながることは必然です。

決起大会では大会長の林照男町長のあいさつのもと、富谷晴一幕別町農協組合長が情勢報告を行いました。関口茂男町議会議長ら四人が決意表明し、続いて丸谷参議院議員、中川、鈴木両衆議院議員、保格博夫道議会議員らが激励のあいさつを行いました。

また、ガット裁定に対する農業者の気持ちを伝えた新聞を読んでも愛知県春日井市立中部中学校二年七組の八人から妹尾良男さん(新和)に送られてきた手紙が読み上げられ、参加者を勇気づけました。

最後に大会決議を読み上げ、参加者全員でシュプレヒコールを行い総決起大会を終了しました。

12品目一覧表

品目名
脱脂粉乳、無糖練乳など
プロセスチーズ
雑豆(小豆、インゲン、エンドウなど)
でんぷん
落花生
牛肉・豚肉調整品
ぶどう糖など
フルーツピューレ、フルーツペースト
パイナップル缶詰など
ブドウ、リンゴなどの果汁、トマトジュース
トマトケチャップ、ソース
その他の調整食料品(育児用粉乳など)

町消防団の永年勤続者を表彰

町消防団恒例の出初め式が、一月七日に第一分団(幕別)、八日に第三分団(糠内)、九日に第二分団(札内)の日程で行われ、次の方が永年勤続などで表彰されました。

■道知事表彰

▽永年勤続章(三十年) 山中謙治(第二分団長)、末永武(第二分団長)

■東十勝消防事務組合長表彰

▽勤労章(二十年) 宗岡寿(本団本部長)、藤岡学(第二分団班長)、村田義雄(第三分団員)、長崎幹夫(同)

▽永年勤続章(二十年) 末永武(第二分団班長)、宗岡寿(第二分団員)、藤岡学

▽勤続章(十年) 船越清光(第三分団員)、高橋秀樹(第二分団員)、伏見忠行(同)

▽永年勤続章(十年) 船越清光、高橋秀樹、伏見忠行、八巻省三、林郁男、嶋田春光、金沢佳樹

■道消防協会会長表彰

▽永年勤続章(三十年) 末永武(第二分団班長)、宗岡寿(第二分団員)、藤岡学

▽永年勤続章(二十年) 末永武、武藤利貞(第三分団班長)、上田栄一、大野潤二郎(第二分団班長)、松岡明(第三分団員)

高橋秀樹、伏見忠行、八巻省三(第二分団員)、林郁男(第一分団員)、嶋田春光(同)、金沢佳樹(同)

▽精勤章(三百回) 阿部勝利(第一分団員)、品田竹夫(同)

■道消防協会十勝地方支部長表彰
▽勤続章(三十五年) 大久保正司(団長)

▽精勤章(百五十回) 大上光一(第一分団員)、栗野実(第二分団員)

▽勤続章(二十五年) 大島輝男(本団部長)、額瀬太郎(同)、上田栄一(第一分団班長)

▽退職表彰 宗内信一(元副団長)、広瀬堅持(元第一分団部長)、大野多喜夫(元第二分団部長)、森脇伴吉(元第三分団員)、斉藤正憲(元第一分団員)

ヨーロッパ視察記

町教育委員会では、広く諸外国を視察し国際的視野を広め、地域づくりのリーダーとなることを期待して、杉山勝彦さん(40歳・幸町・幕別農協勤務)と市丸珠己さん(51歳・旭町・会社員)の2人を十勝生涯学習セミナー海外研修の

一員として、昨年11月17日から12月1日までの15日間にわたりヨーロッパへ派遣しました。

イギリス、フランス、西ドイツ、デンマーク、スイスの5カ国を訪問したお2人に視察記を書いていただきました。

温かく迎えてくれた

ホストファミリーの人々

十一月二十一日。私たち一行(男二十一、女五人)を乗せたバスは、うす暗くなったロンドンの市街を北へと走っていた。ホームステイの予定地ハロー市は、ロンドンから十二マイルほど離れた住宅街であった。バスの中の団員は不安と緊張で複雑な顔をしていた。だれもがうつりゆく外の様子を目で追っていたが、仲間と離れて過ごす二泊にそれぞれが思いをめぐらしていた。

停留所で乗り物待つ人々の肌の色はさまざま。すずかけの樹々の葉がすっかり地上を変え、道路にはゴミ袋が並んでいた。外は寒そう、外とうに身を包んだ老若男女が足ばやに歩いていった。歴史と伝統を誇示しているかのような建物。かつては人口、商業、金融、政治の各方面に久しく世界一を誇った大都市の貫ろくが私たちの目を奪った。どこを見ても格式のある古い石やれんがの建物が不思議なエネルギーを含み、どんよりとした街並に似合っていた。

十一月十八日の夜、キングクロス駅で起きた地下鉄火災はロンドンの交通状態を最悪にしたらしく、バスは狭い道をあちこちと曲がり、どこも車、車であふれていた。

暗い空から雨が落ちてきて、何かしら心細かった。ロンドン是一年間で雨天は百五十日以上あると言われ、霧は視野を妨げるほどらしい。午後七時すぎ、私たちはホストファミリーの待つステーションの前でバスを降りた。次々と手を振って別れて行く仲間を見送り、私は同室のT女子と異国のやみをみつめながら、ホストファミリーのスインソン氏を待っていた。やがて現われたスインソン氏と短い言葉であいさつを交わし、安堵した。十分程走った静かな住宅街。同じれんが作りの家が並んでいた。木の門を押して庭に入ると奥様が



ホームステイ先のスインソン家の人々と

市丸珠己

ニコニコして出迎えてくれた。居間で家族の紹介を受け、私たちも自己紹介をした。国柄が違うとお互いに名前が聞きとれず、声にならないものである。おかしかった。

ご主人と奥様は三十代と思われ、十五歳の高校生のお嬢さんと九歳のお嬢さんの四人家族。それに、室内犬が一匹と猫が三匹居を構えていた。室内にはクリスマス用のスタンドが点灯され、テレビの上

に小さな扇の置物があり、以前にも日本人の来客があったことを奥様から聞いた。犬が足元にすり寄って来たことから会話が進んだ。：と言っても辞書を片手に手ぶり身ぶり。人間は言葉が通じなくても、他の方法で意志をくみとり、雰囲気を感じにつかんで相手の要望を知ることが出来るものである。スインソン家の人々には大変迷惑なことであったに違いない。しかしホストファミリーの一家は、素直に私たちに普段の生活を見せてくれた。夕食には手作りのハンバーグエッグにポテトフライを添え、マフィンという丸い軽焼きのパンをすすめてくれた。私たちが「大変おいしいですね」と言うと「ありがとう」と返事がかえってきた。朝食はお嬢さんたちが用意してくれ、

セリアル(コーンフレークやライスフレークに牛乳とか砂糖をかけたもの)に、熱い紅茶であった。「よく眠れましたか?」と朝の言葉とかわいい笑顔が待っていた。九歳の少女に紙人形を作って渡すと割りばしにさしこみ、好みの名前をつけてダンスを楽しんだ。日本ではどんなプレイ(遊び)をするのかと聞かれた。

日曜日はロンドンの商店は休業である。私たちは少女の案内でウエンブリーパークの青空市場へ行った。ウエンブリーステーションの近くで毎週日曜日に開かれる青空市場は有名で、地下鉄を利用して集まってくる人々は、黒人、インド人、ラテン系、東洋系。かつて英国が七つの海に植民地を持ち、ロンドンが世界の首都だった時代を思い起こさせるのに充分であった。あらゆる商品がこせましと並び、あらゆる買い手がゼスチユアーたくみに追っていた。あたかも世界地図を広げたような格好の舞台であった。その人、人の間を九歳の少女がたくみに中年の私たちを誘導して歩いたのである。こっけいな話であるが、英国人は食事も衣類も実用主義で、決してばかげた浪費やぜいたくはない。しかし、一方、消費生活はきわめて豊かで西欧各国の大都市に勝るとも劣らないと言われているのも、人種の多様化のためかもしれない。

頑固なまでの保守性と

個人主義のヨーロッパ

飛行機を乗りついでデンマークのコペンハーゲン着。畑七十二畝、乳牛七十五頭、豚三百頭の農家、カーリブ・トマースン氏宅へ。幕別の農業と比較すると豪農の部類に入ると思われるが、牛舎、家等は意外に質素である。団員の中には農業者が多いので、トマースン氏は質問責めに合う。「価格は？、肥料・農薬は？、収量は？……」

日本と同様、経営はあまり楽ではないようだ。農地もところどころ湿地があり、明・暗渠等の基盤整備はまったく行われていない。牛舎の中で忙しそうなお息子さんのトマースンジュニアに会う。自分のこづかいで、オーストラリアや米國に行き農業実習をして勉強しているらしい。「忙しくて恋人をみつける時間もないが、しっかり勉強して立派な農業者になりたい」とはにかみながら答えてくれた彼の瞳に、デンマーク農業の未来が見えた。

海のそばの国なので魚料理が多くておいしい。日本人にはうれしい国だ。異国の記念すべき最初の夜は旅の疲れが出て、午後十時にはベッドに入る。ヨーロッパの朝は暗い。明るい電気の下でバイキング風の朝食を終え、子供の遊び

場協会を訪問する。コペンハーゲンの街は緑が多い。街作りの基礎は公園が柱になるとか。二度の大火事と戦災をきっかけに区画整理を実施したとのことだが、かなりの荒療治をしたと思われる。何百年もかけて実施してきたと、こともなげに説明されたが、彼らのこの実行力はどこからくるのだろうか。続いて子供の冒険遊び場を訪



コペンハーゲンの子供の遊び場協会にて

問する。街の中の公園に隣接して意意外と狭く、質素な施設である。古い家を解体したクギだらけの古材が山積みされた横には、さまざまな小屋が建てられている。私たちが子供のころ、山に登って木や草を使って作ったあの「秘密の基地」である。けがをしないかと

杉山勝彦

の質問に、多少のけがはあるが将来大人になった時の訓練だと説明された。あらゆる危険を排除して子供の教育をしようとしている日本の親や風潮を考えさせられた。世界の観光地スイスへ。どこへ行っても日本人の観光客が多い。マナーもあまり良くない。人通りの多い住来で歩行者を無視してシヤッターを切る日本人。じつと立ち止まってそれに協力する外国人。今回訪問したヨーロッパの国々は長い歴史と文化にしっかり支えられた国であり、数度の革命を経験した国も多い。それらが育んだ人権の意識や個人主義の思想は、戦後ようやく本物の民主主義に触れないか四十年の歴史しか経験して

いない日本と比較すれば、雲泥の差と言わざるをえない。日本人としての誇りと文化を大事にして、歴史を一步一步つくるのが国際人としての日本人を確立していく道だろう。

スイスは本当に素晴らしい。山、湖、街並み、どこを見てもまさに絶景である。しかし急峻な山肌にはべりつくように建っている農家の家々を見ると、外観ではあるがかなり質素な生活であることが伺える。アイガー、ユングフラウの



チューリッヒ（スイス）の街並みをバックに

絶景をあとに、バスでジュネーブへ。ジュネーブの街で「ガット」の本部を見る。すかさず「農畜産輸入自由化反対」の声が上がる。さすが農業国十勝の仲間。

西ドイツの人の一番好きな外国人は日本人で、一番嫌いな外国人はアメリカ人とのこと。第二次世界大戦の敵・味方という訳らしい。ミュンヘンと言えばビールの本場。ビールとソーセージがうまい。キャベツを煮込んだザワークラウトがたくさん出る。生野菜もいろいろ、こういう料理だとたくさんいいが、こういう料理だとたくさんいいが、キャベツが苦勞せずには食べられ、健康に良いことだろう。ドイツ人は合理的だ。ドイツ人は人なつこい。我々にも笑顔であいさつしてくれる。街並みも清潔でゴミひとつ落ちていない。建物、文化、人情、ビールとソーセージ。デンマークと共にもう一度訪れてみたい

国である。フアッションの街パリへ。買物ツアーなのだろう。日本人の若い女学生らしい連中が十万円以上もするバッグなどを平気な顔で購入する。日本人が経済的に豊かになつた証拠なのだろうか。ここまでぜいたくに馴れてしまった日本人は、今後予想される厳しい時代に耐えていけるのだろうか。また、自己主張を有名というだけのブランドに託す若者たち。もつと燃やすことのできる青春の課題はないのだろうか。

良い機会に恵まれ、本研修に参加させていただき、本場にありがとうございました。私たちは職場や地域で多くの人たちといろいろな関わりを持ちながら生活し、個々の人間性を醸成している。こうした個々の人格の積み重ねが文化を築き、歴史をつくっていくのだろう。ヨーロッパのごく一部しか見ていないが、しっかりと大地に根をおろし、頑固なまでの保守性と個人主義の上に民主主義を成長させ、生きていくことが理解できている。円高を象徴するように、どこへ行っても日本人の観光客でいっぱいである。自分の事は棚に上げて「異常だ」ということを痛感した。日本の十勝で生活している私たち。ヨーロッパのような文化や歴史は簡単には築けないかもしれないが、一步一步着実に、しかも大胆に多くの仲間と共に頑張りた



第18回全町スピードスケート選手権大会が1月15日、幕別町営リンクで開かれ小中学生ら320人が参加しました。今年はオリンピックの年。将来のオリンピック選手を夢みて、選手たちは元気一杯のスケーティングを見せていました。

夢はオリンピック選手

冬でもパークゴルフを楽しもうと、札内と幕別の屋内ゲートボール場では日曜日ごとにパークゴルフを楽しむ人たちの歓声が響いています。一コース四ホールで障害物を置くなどの工夫がされており、なかなかパーでまわるのは難しいようです。



屋内ゲートボール場で ナイスショット



120人が真剣な表情で対局



幕別将棋連盟(西村清吉会長)主催の第4回全町ちびっ子将棋大会が一月十二日、札内福祉センターで開かれました。大会には全町から百二十人が参加し、中には三十分近く長考する光景もみられ、いずれも真剣な表情で対局に臨んでいました。

「おめでとう20歳(はたち)」。新成人としての門出を祝う「成人式」が1月15日に町民会館で行われました。幕別町の今年の新成人は253人。式典ではキャンドルサービスなどで大人の自覚を確認し合いました。



おめでとう二十歳(はたち)

幕別 ⑪ 続. ものがたり

明治二十八年、三重県の医師・宇仁田仁平と高山徳次郎は北海道での農場経営を目指して猿別原野を視察し、肥沃な土地だと判断して農場予定地と決めた。宇仁田は明治三十年、三十一年と三重県から三十四戸の小作人を当地に送り南勢開拓社を設立している。

明治二十八年、三重県の医師・宇仁田仁平と高山徳次郎は北海道での農場経営を目指して猿別原野を視察し、肥沃な土地だと判断して農場予定地と決めた。宇仁田は明治三十年、三十一年と三重県から三十四戸の小作人を当地に送り南勢開拓社を設立している。

猿別川を挟んで 東西をつなぐ南勢の橋

一方、猿別川西北部には明治三十年、香川県移住民奨励会の福家締吉らが入植している。大正から昭和の初めにかけて開拓が進み、南勢地域は猿別川をはさんで兩岸に発展し、相互の行き来も多くなった。当時、夏は渡船、冬は結氷した上を馬ソリや人が渡っていた。

昭和四年ごろ、四号線に木橋が部落の人たちによって架けられた。その橋も修理を重ねて利用されていたが、昭和二十二年に破損している。一方、五号線には昭和十五年ごろ現在の南勢橋の下流二百メートルに橋がかげられた。猿別川は普段も流れが速く水量も多かった。春の雪解けや夏の長雨で川は増水して木の根や流木を運び、低くたれたつり橋は何度か危険な状態にさ

た。そして五十年九月には現在の近代的な永久橋に姿を変えた。

町役場は経費の軽減を重視し、対岸との高低差の少ない五号線に決定した。念願の南勢橋はしこりを残しながら、昭和二十五年十月、全長七十メートル、幅三メートルの木橋が完成した。この橋も度々修理されながらも二十五年間地域発展のために貢献した。

記・ふるさと館郷土史部会

坂口 順一

広報クイズ⑪

500円の図書券が当たる

三つの答えの中から正しいものを選び、はがき書いてお送りください。

- 1 農畜産物輸入自由化・梓拡大阻止幕別町総決起大会に参加したのは
 (A)1,000人 (B)2,000人 (C)3,000人
- 2 上・下水道料金が改定されますが、適用になるのは何月徴収分から
 (A)3月 (B)5月 (C)7月
- 3 1月24日に体育館落成式を行った小学校は
 (A)明倫 (B)中里 (C)駒島
- 4 今年創立30周年を迎える町の団体は
 (A)体育連盟 (B)消費者協会 (C)文化協会
- 5 2月14日に開催される冬まつりの会場は
 (A)幕別運動公園 (B)糠内中学校グラウンド (C)明野ヶ丘公園

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-(A))、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んで一言などを書き添えてください。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃くかいてください。

★あて先☎089-06 幕別町本町130 役場内・広報係

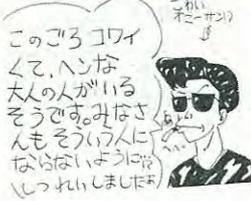
★締め切り=2月15日(15日の消印有効)

★前回の正解は、①-(A)、②-(B)、③-(B)、④-(C)、⑤-(C)でした。応募46通で全問正解が45通。抽選で次の5人が当選しました。

(敬称略)

中鉢洋子(35・桂町) 梅田泰淳(8・あかしや町) 神野博子(35・相川) 金田紀彦(12・若草町) 上田めぐみ(10・桂町)

1-A 2-B 3-B
4-C 5-C
幕別町 糠内中央町529
平野学 (11才)



このごろコワイ
くて、ハンパ
太人の人がいる
そうです。みんな
んも、そついでに
はらばい、ようには
しつらい



私内あかしや町56の26
樋口岳彦(9才)

みんなの一言



幕別町 糠内中央町
(43-92) 5232棟
栗田のり子(5才)



幕別町 糠内中央町33-46
栗田のり子(10才)

みんなの一言

- 😊:ぼくは毎日スケートががんばっています。図書券当たるといいなあ。↓若草町 田辺昌利(9才)
- 😊:今年もミニバレーで汗を流そうと思っています。↓春日町 藁島和加子(7才)
- 😊:図書券まつるぜ! ↓新北町 前田幸樹(7才)
- 😊:私は読書大好きな女の子デニス。図書券が当たったらモットモット本を大スキになります。広報の方ヨロシクね。↓若草町 金田由紀子(6才)
- 😊:歴史の勉強になります。↓文京町 鈴木景子(7才)
- 😊:図書券が当たればいいな。↓泉町 吉村京子(7才)
- 😊:図書券期待しています。↓あかしや町 西藤俊英(7才)
- 😊:としよけんあたりますように。↓あかしや町 栗生かおり(7才)

幕別町民の温かい心を伝えてあげたいものです。↓桂町 中山孝義(5才)

◆幕別町に飛来するオオハクチョウの一群は、十勝を代表する冬の風物詩としてすっかり定着しました。また、町の鳥にもなっています。これもひとえに、ハクチョウおじさんとして親しまれています。

た道下正人さんの努力によるものです。その道下さんが一月十五日にお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りするとともに、ハクチョウを見るたびに道下さんの「温かい心」を思い出したいものです。

◆明 けましておめでとうございます。今年もまた幕別のことを内容豊かに伝えてください。家族みんなが楽しみにしています。↓文京町 進藤和子(7才)

◆:広報紙作成者として身の引き締まる思いがします。今年も一生懸命頑張ります。

- 😊:ぼくは毎日スケートががんばっています。図書券当たるといいなあ。↓若草町 田辺昌利(9才)
- 😊:今年もミニバレーで汗を流そうと思っています。↓春日町 藁島和加子(7才)
- 😊:図書券まつるぜ! ↓新北町 前田幸樹(7才)
- 😊:私は読書大好きな女の子デニス。図書券が当たったらモットモット本を大スキになります。広報の方ヨロシクね。↓若草町 金田由紀子(6才)
- 😊:歴史の勉強になります。↓文京町 鈴木景子(7才)
- 😊:図書券が当たればいいな。↓泉町 吉村京子(7才)
- 😊:図書券期待しています。↓あかしや町 西藤俊英(7才)
- 😊:としよけんあたりますように。↓あかしや町 栗生かおり(7才)

救急車の有効活用を 昨年の出動件数は318件

幕別消防署のまよめたところによりまして、昨年一年間(六月十二日～五月十二日)に町内で発生した火災は七件で、焼失面積は二百九十三平方メートル、損害額は一千四百七十七万円となっています。火災件数は六十一年よりも四件減っていますが、ちよつとした油断で火災は発生します。火の取り扱いは十分注意をしてください。火災時の問い合わせは☎54-13555で録音テープで対応しています。火災発生直後に電話されますと録音することができませんので、時間をおいてから利用するようにしてください。

また、救急車の出動件数は三百十八件(前年より五十九件増)でした。しかし、このうち結果として救急車を必要としなかったものが半数以上の百七十五件もありました。明らかに救急車を必要としないものも相当数あります。

このことを十分に考慮され、一台しかない貴重な救急車を皆さんが有効に活用していただくことをお願いします。救急車の出動要請は☎一一一九です。

小里中 開校七十七年目で 初めての体育館完成

十勝管内で唯一、体育館のなかった中里小学校（佐渡博校長、児童数十人）の屋内体育館が昨年十二月に完成し、その落成記念式典が一月二十四日に開かれ、施設完成を祝いました。

体育館のなかった同校では、これまで体育の時間は廊下や教室などで限られた種目しかできず、体育館の設置は学校や地域にとって

長年の課題となっていました。

開校七十七年目にして初めてのきた体育館は校舎の西側に位置し、鉄筋鉄骨セラミックブロック造りで、面積は五百四平方メートルとなっています。アリーナ、ステージの外、

地域の人たちが利用しやすいよう学校開放用の玄関、水飲み場などが設けられています。また、衛星放送受信施設、一輪車の練習バー

なども設備されています。

二十四日の式典には学校関係者



さっそく体育館で一輪車を練習する子供たち

ひと

35 町づくりにも果たす役割を再確認

会長 木村 正夫さん
（旭町18・69歳）

本町のスポーツ振興に大きな役割を果たしている幕別町体育連盟が設立三十周年を迎えました。二月十九日には記念式典の開催が予定されています。その体育連盟の会長が木村正夫さんです。

◇

『体育連盟が発足したのが昭和三十三年で、四十七年に三代目の会長として就任しました。もう十六年にもなるんですね。ここまでやってこれたのもほかの役員さんや会員の皆さんの支えがあったからこそで、感謝しています。』

就任当時はまだ組織がし

っかりしていなくて、何かスポーツ行事をやるにしても教育委員会の職員の人たちに任せきりだったですね。今では各所属団体が自主的に運営できるようになりましたが、まだまだ発展途上の組織だと思っています。』

◇

『体育連盟には現在十八団体が加盟していますが、この三十周年という大きな節目を機会に町づくりに果たす役割を再確認したいですね。優秀な選手を養成することも大切ですが、スポーツを通しての地域づくりに参画することも大きな役割の一つではないでしょうか。』

◇

大正七年陸別生まれ。昭和四十七年に幕別に。元幕別小学校校長。

や地域の人たちから二百二十人が出席しました。工事報告のあと、林照男町長があいさつ、関口茂男町議会議長、牛尾毅教育委員長らの祝辞に続いて、佐渡博校長、児童会長の岩井誠治君がお礼の言葉を述べました。また、児童全員による器楽演奏も行われ、広い体育館と大ぜいの人を前に子供たちは緊張しながらも見事な演奏を披露しました。

メインはミニスキー純ジャンプ大会 第6回まくべつ冬まつり 2月14日に糠内で開催

イベントは「ミニスキー純ジャンプ大会」。昨年の冬まつりのスポーツ大賞で大好評でしたミニスキーの純ジャンプ部門がさらに大きくなって単独のイベントになりました。賞金・賞品の総額は三十万円。種目は飛距離部門とパフォーマンス部門があります。また雪像コンクールは今年も出張審査をします。

冬こそ北国の特権です。「まくべつ冬まつり」も今年で六回目を迎え、冬のイベントとしてすっかり定着しました。

今年からはちょっと趣向を変えて、二月十四日（日曜）に糠内中学校グラウンドで開催されます。

今年のメインイベントは「ミニスキー純ジャンプ大会」。昨年の冬まつりのスポーツ大賞で大好評でしたミニスキーの純ジャンプ部門がさらに大きくなって単独のイベントになりました。賞金・賞品の総額は三十万円。種目は飛距離部門とパフォーマンス部門があります。また雪像コンクールは今年も出張審査をします。



昨年の冬まつりでのミニスキー純ジャンプ

詳しいことは役場開発商工課までお問い合わせください。

「寄付ありがとうございます」

- 町へ：
▽幕別建設業協会（堂前豊会長）から五十万円
- 社会福祉協議会へ：
▽萩原正雄さん（糠内）から五万円
▽南竹葉観光（杉山雪男社長）から二万二千五百円
▽三好正春さん（幸町）から三万円
▽上原俊朗さん（錦町）から三万円
▽札内北小学校児童会から三万八千八百七十九円
▽吉田景子さん（緑町）から一万円
▽吉田多喜子さん（千住）から一万円
- 老人クラブへ：
▽加藤布土於さん（途別）から途別老人クラブへ十万円
- その他：
▽助川秋好さん（新和）から特別養護老人ホーム札内寮へタオル一箱